

「 一般病棟における転倒・転落患者に関連したインシデントの要因分析 ～341 件のインシデントレポートから～」

1. 研究の対象

対象者は、2022 年 1 月～2022 年 12 月までの 1 年間で入院中に転倒転落を起こした一般病棟全ての方を対象とします(救命救急病棟、集中治療室、NICU、手術室、透析センター、一般外来での転倒は含みません)。

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕

患者様の様々な要因によって、転倒しやすい状況にあることを理解し、転倒予防策を行っていますが依然として入院中の転倒転落のインシデント事例が多く防ぐことが出来ていない現状があります。入院時に使用している転倒転落アセスメントシートで危険度なしや低リスクと判定された患者様において特に転倒転落している現状があります。

〔目的〕

転倒転落を予防するためには転倒リスクの評価と対策が不可欠であり、患者要因などの要因分析と各病棟での特徴に応じた対策が有効であると言われています。そのため、まずは一般病棟における転倒転落インシデント報告から、転倒リスク評価を行い、自部署の特徴の分析とそれらの要因から得られた転倒・転落リスクから、効果的な転倒・転落予防対策ができるのではないかと考え本研究に取り組むことにしました。

〔方法〕

2022 年 1 月～2022 年 12 月までの 1 年間のインシデントレポートから、転倒転落に関する症例のうち、カルテより転倒日の患者の基本属性、内的要因、外的要因について情報を得ます。該当患者様の入院時、転倒日の転倒転落アセスメント評価を抽出します。

〔期間〕

倫理委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

基本属性（診療科、疾患、年齢、性別、意識レベル、転倒の既往、BMI）、加齢変化(ADL、認知機能)、身体的変化(発熱、ヘモグロビン値、骨折の有無、血圧、補助具の使用、視覚障害の有無)、薬物(睡眠薬、降圧剤、化学療法、麻薬)の使用の有無、アセスメントシートの情報をカルテより情報収集します。

4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの氏名および ID を削除し、個人を特定できないようにします。また、それらの抽出データは、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者（松本美沙）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院内・院外への発表が行われてから 5 年間保管し、適切に廃棄します。

5. 本研究に用いた情報の二次利用、外部への試料・情報の提供について

本研究で得られた情報は、今回の研究目的以外に使用することはありません。また、収集した試料や情報を外部へ提供することはありません。

6. 研究成果の公表について

本研究の結果は院内研究発表、学会発表、学術雑誌などで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報that特定できないよう十分配慮します。

7. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 所属名 4 階南病棟 氏名 松本美沙

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター 所属名 4 階南病棟 氏名 角野幸代

近江八幡市立総合医療センター 所属名 4 階南病棟 氏名 小寺杏実

近江八幡市立総合医療センター 所属名 4 階南病棟 氏名 川嶋頼子

近江八幡市立総合医療センター 所属名 4 階南病棟 氏名 西村えり子

8. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供 ※二次利用無しなら削除）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2025 年 1 月 31 日までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 所属名 4 階南病棟

氏名 松本美沙

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151